

評価基準（春日市高齢者福祉計画2027・第10期介護保険事業計画策定支援業務に係る公募型プロポーザル）

No	審査手順	評価項目			評価内容	配点
		大項目	中項目	小項目		
1	1次審査 及び 2次審査	同種・類似業務実績			国や地方公共団体等における同種及び類似業務（介護保険事業計画等）の受託実績は十分か	10
2		実施体制		安定性	業務遂行の実施体制及び要員配置（役割、資格、業務経験）が十分か。	10
3				具体性・明確性	市と受託者の役割分担が具体的かつ明確になっているか。	5
4	2次審査	企画提案内容	実施工程		作業スケジュールが具体的かつ明確になっているか。	5
5			業務内容の 考え方・手法等	2 調査	「2 調査（在宅介護実態調査及び介護予防日常生活圏域ニーズ調査）」が、適切かつ円滑・効率的に実施できるか。	10
6				現状分析・推計及び施策の提案	「本市の高齢者並びに高齢者福祉施策及び介護保険事業運営（介護予防・日常生活支援総合事業を含む。）を巡る現状についての整理・分析・検証」に当たっての考え方・手法等が有効・有益か。	10
7					「過去の介護給付実績・認定者の情報等（特に第9期計画期間中のもの）」についての整理・分析・検証」に当たっての考え方・手法等が有効・有益か。	10
8					「2 調査の結果についての整理・分析・検証」に当たっての考え方・手法等が有効・有益か。	5
9					第10期介護保険事業運営のための基礎指標（総人口、年齢別人口、（年齢別）認定者数等）の推計における考え方・手法等が有効・有益か。	5
10					上記の整理・分析・検証の結果を踏まえた「本市の問題点及び基本課題の抽出」についての考え方・手法等が有効・有益か。	10
11					「将来の施策案の提案」の考え方・手法等が、国の介護保険制度の改正の動向、他団体との比較等を踏まえるとともに、本市における上位計画との整合性の確保に配慮したものか	10
12					本市の現状等に照らして、現実的かつ具体的な「将来の施策案の提案」をするに当たっての考え方・手法等が有効・有益か。	10
					「国の認知症施策推進基本計画に基づく、市の認知症施策推進計画を盛り込む」に当たっての考え方・手法等が有効・有益か。	10
13				計画書のレイアウト等	計画骨子案を作成するに当たっての考え方・手法等が有効・有益か。	10
					計画書案について、介護保険法第116条に基づき国が示す基本指針を網羅した内容となっているかをチェックし支援するに当たっての考え方・手法等が有効・有益か。	10
					事業計画書におけるレイアウト等を、市民や関係者にとって分かりやすいものとするか。	5
14			その他	その他、本計画を策定する上で、有効・有益と思われる提案があるか。	15	
15	プレゼンテーション	質問に対し分かりやすく的確・妥当に回答しているか。	10			
16	委託費用	本業務の委託費用の内訳を具体的に示しているか。 費用の金額・内訳等が適切・妥当か。	20			
合計						180